

■ 施策評価シート 22-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-①	施策名	まちづくり情報の提供

施策の概要

まちづくりの活性化を図るため、地域の課題解決や、市民公益活動団体の活動を支援するための情報を提供します。

成果指標(単位)	中間支援組織が運営する地域ポータルサイトのアクセス数				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	7,500	8,300	9,100	9,900
実績値	6,642	9,947	17,536		

成果指標実績に対するコメント

中間支援組織が運営する地域ポータルサイトのアクセス数は目標値を大きく上回ることとなった。主な要因としては、令和4年度から、ホームページの仕様をスマートフォンでも閲覧しやすいように変更したことや、各種企画をFacebookで発信する際に、企画の詳細についてホームページで確認できるようホームページアドレスを掲載するようになったこと、また、コロナ禍により制約される中、一部の講座を動画配信するなど工夫したことによりアクセス数が増えたと考えられる。

施策の達成度評価

町内会長全体説明会において、まちづくり資料集を配布するとともに、令和3年度に実施した町内会長アンケートの結果を踏まえて地域の課題を共有し、随時、町内会長からの相談に応じて個別対応を行うなど、地域住民の自主的なまちづくりを支援した。また、中間支援組織である草津市コミュニティ事業団が運営するホームページの仕様や中身を充実させるとともに、市民総合交流センター5階の協働ひろばにおいて市民活動に関するチラシ等を整理し、より見やすくなるよう工夫した。

評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方

町内会長全体説明会でまちづくり資料集の説明と併せて、町内会活動の課題解決に向けた基調講演を実施することで、町内会の取り組み事例や課題の共有が図れるよう調整する。
また、協働ひろばに集約されているまちづくり情報の発信について、公式ラインの運用を開始し、より多くの市民にタイムリーな情報が届けられるよう努める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
まちづくり情報事業	まちづくり協働課	○	様々なまちづくり情報を、各主体に合わせ手法を工夫しながら発信したため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■ 施策評価シート 22-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-②	施策名	行政情報の提供

<p>施策の概要</p> <p>市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう、行政情報を提供します。</p>

成果指標(単位)	ホームページアクセス数(万件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		800	830	860	890
実績値	797	1,095	650		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市ホームページのアクセス数は、前年度より約40%減少し、目標値は達成できなかった。その減少分については、新型コロナウイルス感染症関係情報と分析しており、社会の正常化に伴い、市民の新型コロナウイルス感染症への関心が落ち着き、平常時のアクセス数に回帰したと考えている。なお、SNS等を活用した多様な情報発信により、コロナ禍前の令和元年度のアクセス数(523万件)より大幅に増加しており、必要な情報を市民に届ける市ホームページ運営を行えたものとする。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>市ホームページは、ブランディングエリアやアクセスランキングを定期的に更新するなど、必要な情報を探しやすいホームページづくりに努めた。また、新たなSNSとして拡散性の高いTwitterを開設し、より多くのユーザーへ行政情報の提供を可能にしたほか、広報紙やSNSではQRコードや市ホームページのリンクを貼るなど、市ホームページと連動させた情報発信に努めた。</p>

<p>評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、誰もが分かりやすく情報を入手できる、市ホームページの運営に努めるとともに、市民が必要な情報を様々な媒体から入手できるように、広報紙、LINEやFacebook、TwitterといったSNSなどと連携させた情報発信を行っていく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
広報くさつ発行事業	広報課	○	限られた紙面の中で、必要な情報を分かりやすく伝える視点を持って、広報紙の作成に取り組んだため。
シティセールス推進事業	広報課	○	草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」の出演やSNSによる情報発信のほか、KUSATSUBOOSTERSへ新たに3名加入いただき、イベントを実施する等、草津市のPRに取り組んだため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
インターネット広報事業	広報課
パブリシティ推進事業	広報課
ふるさと寄附運営事業	広報課
広報映画制作事業	広報課
市長への手紙事務	広報課
人にやさしい広報作成事業	広報課
放送委託事業	広報課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 22-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-02-①	施策名	産学公民の連携によるまちづくりの展開

施策の概要

複雑化する課題に対して、産学公民の多様な知見を持ち寄り、共有を図りながら、未来のまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		12.5	12.9	13.3	13.7
実績値	12.1	12.1	10.8		

成果指標実績に対するコメント

令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面での事業実施と合わせて、オンラインを活用した事業を実施してきたものの、目標値の達成には至らなかった。

施策の達成度評価

産学公民の様々な立場の者が話し合えるプラットフォームとして、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)を運営しており、事業プロジェクトや各種セミナー等を通じて、新たな交流機会の創出やまちづくりの発想等に繋がっている。前年度と比較して、行政の関係機関からの参画が見られたことが評価できるが、産学公民の連携の強化を図るため、より多くの関係者、特に事業者が参加しやすい事業のあり方について検討・改善が必要である。

評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方

産学公民の多様な知見を持ち寄り未来のまちづくりを推進するため、それぞれの連携・交流を促進し、参加・提案型の事業を実施することにより、市の施策に反映させる事業展開を図る。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
アーバンデザインセンター運営事業	草津未来研究所	○	産学公民のそれぞれの知見を活かした学習事業等の展開を行い、参加者が自発的にまちづくりを考える機会を提供することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津未来研究所運営事業	草津未来研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 22-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	22-02-②	施策名	都市間交流の促進

施策の概要

多様な人々との交流を展開するため、姉妹都市等との交流など、市民間での都市間交流が活発になるよう、情報提供をしていきます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		12.5	12.9	13.3	13.7
実績値	12.1	12.1	10.8		

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は昨年度より1.3ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、海外友好都市との交流事業が無く、国内友好都市との交流事業もオンライン開催に留まり、都市間交流について市民に周知する機会が少なかったことが要因と考えられる。

施策の達成度評価

伊達市との交流事業について、オンラインを活用し実施することで、友好交流都市としての繋がりを継続することができ、同事業を受託した市民活動団体の都市間交流の意識も高めることができた。しかし新型コロナウイルス感染症の影響により交流の機会が少なく、市民への情報提供も十分でなかった。

評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方

伊達市との交流事業については、市民活動団体が継続的に関わっており、市民間での交流事業に繋がっている。今後も広く市民に都市間交流についての情報発信を行うとともに、市民間の都市間交流が進むよう市の関わり方について工夫する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	○	伊達市との交流事業を実施し、都市間交流を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事